

あいのその 2025 年 7・8 月号



「知れ、主こそ神であると。主はわたしたちを造られた。

わたしたちは主のもの、その民／主に養われる羊の群れ。」

(詩編 100 章 3 節)

愛の園保育園 042-325-1045

聖書は人間が神によって造られたことを語ります。まったく何もないところから、神の姿にかたどって創造したと旧約聖書・創世記にはあります。しかも神が創造したあらゆる被造物の中で、人間だけが神にその姿形を似せて造られたというのです。このことに対する賛美と感謝の思いを謳った言葉が今月の聖句です。ここには「わたしたちは主のもの」とあります。これは被造物の所有権は、それを造った側にあるということです。しかし神は人間を、ただ神の命令を忠実に守り働く無機質なロボットとして造ったものではありません。人間は意志と感情を持ち、自由に生きる者として造られ、命を与えられたのです。

だから人間は時に失敗をします。他者を傷つけることもあれば自分も傷つくこともあります。間違いや過ちをし、しかもそれを繰り返してしまいます。自分さえよければそれでいいと思ってしまうこともあります。あるいは、他人から見れば落ち度のない完璧に思えるような、尊敬や羨望のまなざしを注がれるような人がいたとしても、その本人にとってみれば決してそんなことはないのだ、という人もいるでしょう。あるいはその逆のケースもあります。自分と他人とを比較して優越感をいだくことも、劣等感を抱くことも、あるいは特定の人に対して嫌悪感を抱くこともあります。しかし、神の被造物であるという点においては、人間としての本質的な大差はないのです。

そんな自分勝手な人間を、しかし神は、人間を造った側の責任者として面倒を見続けてくださるのだと聖書は語ります。神は人間を最初から完璧に創ったわけではありません。しかし、だからこそ神は、人間に傷ができればその都度修復し、より良くなるように手直しし、そうやって時間を惜しまずに手をかけ続けてくださる方です。自分が欲しいと思ったもの、自分が造り、愛でて、満足いくような存在として、私たち人間は造られたからです。そこに一切の妥協はありません。徹底的にこだわりぬく、それが神の愛なのです。

(牧師 西脇 正之)

つぼみぐみ

<暑い夏の過ごし方>



今年も酷暑の夏が始まり、登園するだけで大人も子どもも汗だくの毎日となりました。暑さ指数が高くお部屋で過ごす日は、保育室のレイアウトを柔軟に変えて斜面や段差、手押し車などその時々に合わせて体を動かす遊びを用意しています。

ボールプールの中にゴロンと寝転がり笑い声を上げるA君。周りの子ども達には真似っこと笑顔の輪が広がっています。木製スロープに車を走らせ「シャーカタン、シャーカタン」というリズムカルな音を出しているBちゃんとCくん。その音が聞こえると急いで他の子ども達も集まります。車をスロープに置くことは難しいのですが、やってみたい！と挑戦する子も出てきています。伝い歩きの練習をしているDくん。手押し車をカタカタと押して歩くことがみるみる上達してきています。お友達が押している時はその後ろから高速ハイハイで追いかけます。Eちゃんは抱っこで大人の足にまたがり、歌に合わせてトントントントと上下に揺れると喜び、にっこり微笑みます。一人ひとりが見つけた遊びがみんなのお気に入りにとどんどん加わって、新たな姿へとつながる毎日となっています。そして遊びが一区切りついた子から順番に沐浴タイム。「ちゃぽちゃぽ行こうね」と声を掛けると待ってましたとばかりに目を輝かせます。そして優しく体を洗い流しながら水遊び用のおもちゃでちゃぽちゃぽ。外は暑いですがこのようなゆったりとした時間を過ごしています。



たんぽぽくみ

【おさんぽ・はっけん！！】



梅雨入りもして、夏が近づき暑い日が続く季節になりました。

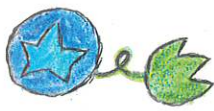
子どもたちも、熱中症に気をつけ毎日元気いっぱい過ごしています。

外遊びが大好きなたんぽぽさん。路地裏散歩では電車のみえるところで中央線や特急「かいじ」の走っている姿に目を輝かせ、道中の工事現場では大きいダンプカー、ロードローラー、走ってくるパトロールカーやバスを見つけて「ピーポー」「しゅうしゅうしゃ！！」と大興奮。

保健センターに遊びに行くと早速、砂場でおままごとごっこがはじまります。容器いっぱいに砂を積めて「たんたん～」と歌いながら葉っぱや木の実を飾りつけ。アリやダンゴムシを発見して「ありいありい」とアリの動いていく様子を追いかけて巣穴を見つけ、雑草のなかにかくれんぼしているダンゴムシやミミズ探しをしています。容器に入れてあげるとみんなで集まって頭をくっつけあいながら観察している姿がとても可愛らしく、子どもらしい姿に大人もニッコリしてしまいます。

最近では歩く距離が少し長くなり、友だちとの手つなぎも上手になってきて学大ウッドデッキまで行けるようになりました。もっと、散歩先での発見を楽しみたいと考えていましたが、早くも夏の暑さが始まり、戸外での遊びに出れる日が少なくなっています。体力が落ちることがないよう、室内遊びや水遊びで体を使った遊びをしながら涼しくなった時の散歩を楽しみに過ごしていきたいと考えています。

(記)



ちゅうりっぷぐみ



〈夏の季節を感じながら〉

今年も急な暑さが続いたり、じめじめしたお天気だったりと気温差のある酷暑が始まりました。子ども達も汗だくの毎日です。ちゅうりっぷ組は新しいお部屋に引っ越して、子ども達は早くも環境に馴染み、初日はマットレスで嬉しそうに寝ころんだり、トイレや手洗いへも自分から進んで行ったり、食事や午睡も以前と変わらずに過ごして日々、楽しんでいる様子が伺えます。

また季節に合わせて、お部屋でもお水を使ったボールすくいや色水を使った遊びがとても人気です！光が差し込んだ薄いきみどりの色水に、きれいな夕方の日差しがあたると「ながいね、きれいだね」と表現豊かな子どもの感性にほっこりしました。一人ひとりが日々の中で色々な発見をして、新しい出来事へとつながる毎日となっています。

暑さ指数が高く室内で過ごす日は、リズム体操やタンバリンと合わせた遊び、小麦粉粘土を作って遊ぶ日もあります。他にもみんなのへやに移動して、肋木で身体を使う遊びも楽しんでいます。肋木の上をよつんばいで歩くのが大好きで「もっとやりたい」「もういっかいやりたい」ととても意欲的な表情で遊んでいます。

今月からは、小園庭でも水遊びが始まります。子ども達一人ひとりが楽しく安全に色々な体験ができるよう工夫して、この季節ならではの遊びを進めていきたいと思います。(記：)

ひかりぐみ



「新しいホールができてうれしいな！」

暑さが厳しい日が続いています。暑さ指数が高く外遊びは控えながらも、子ども達は室内で様々な遊びを楽しみ元気に過ごしています。

6月中旬頃から新しくできたホールで運動遊びや集団遊びなどできるようになりました。7月からはホールでのお昼寝も始まりました。新しいホールには子ども達も大喜び。「きれい!」「はやくあそびたい!」という声が沢山聞こえてきました。

ビリビリゲームやしっぽ取り等の走る遊びに加えて、玉入れやフラットマーカー返し等チームで行う遊びも徐々に取り入れ始めました。勝ち負けを競う遊びでは「勝つ!」という強い気持ちを見せたり、悔しさを感じたりと、様々な感情を経験しています。時には自分の気持ちを抑えられないこともあります。が、「次はどうすれば勝てるか考えてみようか?」などと声をかけることで自分の気持ちを整理したりする姿も見られ、成長を感じます。

今後も集団遊びも沢山取り入れ、友だちや大人と一緒に楽しむ経験を重ねていきたいと考えています。

(記：)



2025. 7-8 月号



食育だより

日差しが厳しい夏になりました。規則正しい生活と栄養のバランスが取れた食事をしっかり摂り、夏を元気にのりきましょう。こまめに水分補給をとり、熱中症にも注意をしましょう。

「スイカにはどんな栄養素が含まれているのかな？」



スイカには皮膚の健康に欠かせないビタミン A やビタミン C をはじめさまざまな栄養素が含まれています。カリウムが果肉や種子に多く含まれ、疲労回復や利尿作用があるとされています。夏の暑さで衰えた身体に優しく、夏バテに効果がある食材の一つです。

スイカの旬は夏で、4～6 月は熊本県、6～7 月は鳥取県、6～8 月は長野県、7～8 月は東北や北海道の出荷量が多くなります。

出荷量は熊本県、千葉県、山形県で多く、全国の出荷量の 4 割を占めています。

☆七夕☆ 空を見てみよう

子どもと見上げた七夕の夜空には、星がたくさん集まった天の川は見えるでしょうか？ その両側に輝いているのが、織姫星と彦星。子どもならではの新しい発見や見え方があるかもしれませんね。夏の風物詩を楽しみながら、子どもの話を聞いてはいかがでしょうか。

梅ジュース作り(そら) 6月5日(木) **南高梅** & **花見糖** で作りました。
梅ジュースになる日が待ち遠しいですね。 **毎日ごろごろと回転させて、砂糖がとけたら、のみくらべをします。お楽しみに。**



① つまようじで梅のヘタをとりました 「ヘタがとれた」と嬉しそう きれいに洗った梅をペーパータオルで拭きます 「おみずがついてるとおいしくできないよ」といねいに拭きました

② 乾いた瓶に花見糖・梅・りんご酢を入れました 黒いビニール袋をかぶせて暗くして保存します

③ 「おいしくできますように！」みんなで毎日ごろごろしました

文責:



子ども達にとって、楽しい水遊びが出来る夏がやって来ました。しかし、小さい子ども達は汗をかくだけでも体力が消耗し、暑い日が続くと、食欲不振や睡眠不足などになりがちで、体調を崩しやすくなります。活動と休息のバランスをとって、いつもの生活リズムが保てるようにしましょう。また、夏特有の日射病や熱中症、寝冷えなど、大人の不注意で起こる病気にも気を付けましょう。

夏を元気に過ごすためのアドバイス

1 やっぱり早寝早起きは基本です。

夜更かしして、朝目覚めが悪いと朝食もなかなか食べられないし、午前中もボーッとしていて、遊びも楽しめません。早く寝て、体の疲れがたまらないようにしましょう。



2 この季節は夏風邪も流行ってきます。

何となく元気がない、ゴロゴロしている、顔色がすぐれない、という時は注意して熱を測ってみましょう。いつもより熱が高くなっていることが多いです。* 毎朝必ず、体温測定と全身チェックをしましょう。



3 糖分の摂りすぎは夏バテの原因となります。

ジュース・アイスなどの取りすぎはビタミンB1を壊します。水分の補給は水か、ほうじ茶・麦茶にしましょう。

4 食事は栄養バランスの良いものを決まった時間に！

特に朝食は午前中の活動のもとになります。飲み物だけでなく、しっかり食物を食べるようにしましょう。冷たい飲食物はお腹の調子を悪くしがちです。少しだけにしておきましょう。



5 夏の陽射しは紫外線が強いです。

- ① 戸外では帽子をかぶりましょう。
- ② 長時間の直射日光を避けましょう。
- ③ 肩に日差しを受けないように袖付きの衣服を着ましょう。
- ④ 海では水面や砂浜の反射紫外線もあるので、日焼けによる皮膚障害に注意しましょう。

6 皮膚を清潔の保ちましょう。

子どもは新陳代謝が激しく汗をかく量も多いので、まめに体を拭いたり、洗ったりしてあげましょう。



7 寝冷えの予防！

子どもが寝ている時、最も汗をかくのは寝入りばなです。この時間はクーラー等で涼しくして、気持ち良く寝かせてあげましょう。

またパジャマは汗を吸収しやすい綿やタオル地のもので、体が冷えないように、お腹や肩などが十分かくれるものを着せてあげましょう。



8 旅行計画には余裕をもって！

旅行の後には大人も子どもも疲れています。ご家庭で十分休んでから登園するようにしましょう。



夏に流行する感染症

《 ヘルパンギーナ 》

38～40℃の高熱が出て、喉には小さな水泡・口内炎のようなものがブツブツと出来ます。喉が痛くて食欲がなくなります。(水分だけは飲ませるようにしましょう)。



《 アデノウイルス感染症 》

38～40℃の高熱に、喉の腫れ・痛みが伴います。目の充血・目やにも見られます。また下痢・嘔吐が強く出ることもあります。(咽頭結膜熱・流行性角結膜炎・胃腸炎等)



《 手足口病 》

口の中、手、足の裏、おしり等に水疱性の発疹が出来、喉にも痛みを伴う水疱ができるため、食欲がなくなります。熱は出ないこともあります。



《 伝染性紅斑 (りんご病) 》

両頬に赤く盛り上がった発疹が出ます。手足にもレース模様の発疹が出ます。



《 夏かぜ 》

発熱・喉の痛み・鼻汁・咳・腹痛・下痢・細かい発疹等の症状が見られます。



6月の感染症

溶連菌感染症

.....

1名



* 6月後半の水遊び前に、幼児クラスに「大切なからだとケガ」の保健指導を行いました。

7月の保健行事

7/11 (金) 9:30～

0才児クラスの内科健診と、5才児クラスのお楽しみ保育前健診があります。



* 遅れないように登園しましょう。